

SONY WALKMAN

DCC-NWFMT1

カーフムステレオトランスマッター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2008 Sony Corporation

Printed in China

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、本体が傷んでいないか、本機とシガレットライターソケットの間にほこりがたまっていないか、配線したケーブル類がからまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体やケーブル類が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 安全な場所に車を止める
- シガレットライターソケットから本機を取りはずす
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号

**△警告 火災 感電**

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故の原因となります。

- 運転中は絶対に本機や接続機器を接続・設置したり操作したりしない。
- 運転中に本機および接続機器の画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

運転操作や車体の可動部、エアバッゲシス

テムの動作を妨げる場所には設置しない

事故や感電、火災、けがの原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にケーブル類をはさみ込まない。
- ケーブル類はまとめて、固定する。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。本機内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。シガレットライターソケット内に異物が入っていると危険ですので注意してください。



本機は対応機種以外では使わない

火災やけがの原因となることがあります。



△注意 下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故の原因となることがあります。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換する時は、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものを使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



本体を座席団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



通電中の本機や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



主な特長

本機（カーフムステレオトランスマッター）は、WM-PORT搭載ウォークマン¹の再生音を、カーステレオ（カーフムラジオ）へFM電波で送信します。このFM電波をカーフムラジオで受信することにより、ウォークマンの再生音を車の中でも楽しめます。

車内でのウォークマンの充電²が可能

（シガレットライターソケットからウォークマンへ電源を供給できます。）

安定したクリアな音声を実現

- フレキシブル送信アンテナを採用することにより、車種を限定せず、安定したFM電波送信を実現します。
- 送信周波数選択回路にデジタル方式を採用することにより、アナログ方式で起こる送信周波数のズレを防止します。

全FM放送帯域（76.0～90.0 MHz）から周波数選択が可能

FM放送の全帯域（76.0～90.0 MHz）から送信周波数を選べます。また、送信周波数を0.1 MHzステップで選べるので、地域を限定せず、空き（放送のない）周波数を探し出せます。

4つのダイレクトメモリーボタン搭載

頻繁に使用する周波数を4つまでメモリーしておき、ワンタッチで選択可能です。

バックライト付き周波数表示ディスプレイ採用

周波数表示ディスプレイに暗い車内でも見やすいバックライト付きディスプレイを採用しています。

多くの車種に設置可能なスマートフォルムを実現

本体ヘッド部の小型化に加え、シガレットライターソケットの周りの障害物を避けて設置できるスマートフォルムを実現しました。

WM-PORT搭載のウォークマンに対応

ご注意

本機は、12 Vカーバッテリー（マイナスアース車）専用です。

24 Vカーバッテリー車には使用できません。

対応機種

WM-PORT搭載のウォークマン

最新の対応機種などの情報は、最新のカタログやホームページをご確認ください。

*1 "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

*2 充電時のウォークマンの動作については、ウォークマン本体によって異なります。

使用上の注意

安全について

- 本機やウォークマンおよび外部機器の操作や接続は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。
- 車の種類によっては、エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままで使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンを切った時には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。
- 本機を使用しないときは、運転操作や可動部の妨げにならないように保管してください。シガレットライターソケットから抜くときはコードを引っ張らずに抜いてください。
- 本機内部に水や異物が入ったときは、本機をシガレットライターソケットや接続機器から抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

設置について

- 使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。
 - 異常に高温になる場所 炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
 - 直射日光の当たる場所、熱器具の近く 变形したり、故障したりすることがあります。
 - 激しい振動のある場所
 - ほこりの多い場所
 - 急ブレーキや急カーブで、本機に接続したウォークマンやケーブルが動かないようにしっかりと固定してください。

使用について

- ケーブル類を強く引っ張らないでください。断線や故障の原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 本機は使用中に温かくなることがありますが故障ではありません。
- 使用後は必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

充電について

- 本機を使用する前には、必ず接続する機器の定格電圧、定格電流を確認の上ご使用ください。
- 本機の使用状態によって、定格電流より過大な電流が流れた場合は、安全の為に本機の出力電圧が途切れ、使用されている機器の電源が切れる場合があります。
- 本機の接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

主な仕様

送信方式

マルチプレックスステレオ方式

76.0 MHz～90.0 MHz (0.1 MHzステップ)

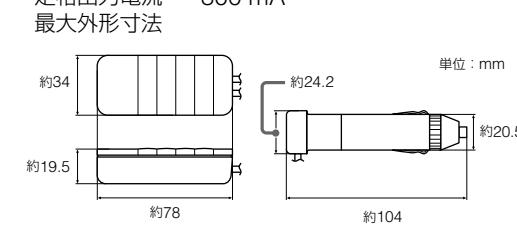
電界強度 500 μV/m 以下 (3 m)

電源電圧 DC 12 V (マイナスアース車専用)

入力端子 WM-PORTコネクター

定格出力電圧 DC 5.0 V

定格出力電流 800 mA



WM-PORTケーブルの長さ 約0.5 m

シガレットライタープラグケーブルの長さ 約1 m

アンテナケーブルの長さ 約3 m

質量 約120 g (ケーブル含む)

付属品 面ファスナー (1組)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

シガレットライターソケットアダプター (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

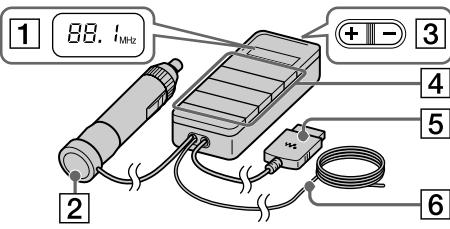
本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

● ホームページで調べるには ⇒ ウォークマンカスタマーサポートへ (<http://www.sony.co.jp/walkman-support/>)

最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとの回答をご案内しています。

● 電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ ソニーの相談窓口へ (下記電話・FAX番号

各部の名称



- 1 周波数表示窓
2 シガレットライターブラグ
3 周波数+/-ボタン
4 メモリーボタン
5 WM-PORTコネクター
6 アンテナケーブル

使いかた

本機のご使用は車のバッテリーの消耗を防ぐために、エンジンをかけた状態で行ってください。エンジンを切ったままで使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。

ご注意

- 本機を設置するときは、アクセルやシフトレバーを誤操作しないよう周囲の安全に配慮してから行ってください。
- 接続や操作は、必ず安全な場所に駐車して運転する前に行ってください。運転中や信号で停車しているときは、危険ですので、行わないでください。
- カーラジオやカーラジオアンテナ、接続した機器について詳しくは、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

カーラジオを設定する

1 カーラジオをFM放送が受信できるよう状態にする。

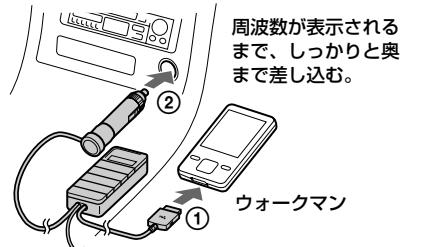
2 76 MHz~90 MHzの中から放送を受信していない周波数を選ぶ。

別の地域に移動した場合、選んだFM周波数で放送を受信してしまうことがあります。このような場合は、放送を受信していないFM周波数を再度お選びください。

ご注意

カーラジオの音量は、なるべく小さい音量に設定しておいてください。

本機を設定する



1 本機のWM-PORTコネクターをウォームのWM-PORTに差し込む。

2 車のシガレットライターソケットに本機を差し込む。

表示窓のバックライトが点灯し、周波数表示が出ます。

シガレットライターソケットの形状に合わないときは

一部の輸入車など、シガレットライターソケットの穴が大きいために、本機が抜けやすくなってしまう場合は、付属のシガレットライターソケットアダプターをお使いください。



3 周波数+/-ボタンを繰り返し押して、カーラジオで設定した周波数を選ぶ。

ボタンを押すたびに、周波数が76 MHz~90 MHzの間で0.1 MHzずつ変わります。

ヒント

- 周波数+/-ボタンを押したままにすると、周波数が早く変わります。
- 電源を入れたときは、前回使用したときの周波数が自動的に選択されます。

4 接続したウォームを再生する。

ご注意

- 接続したウォームのバスブーストやイコライザの調節の機能は解除（動作しないように）しておいてください。音がひずむ場合があります。
- 本機に接続しているときは、ウォーム側で音量調整はできません。音量はカーオーディオ側で調整してください。

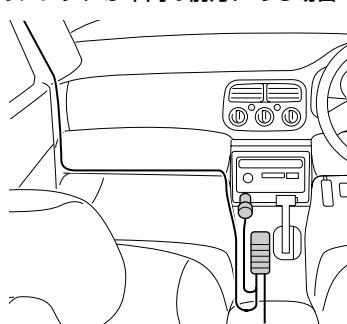
5 カーラジオでの受信状態が良くなるように、本機のアンテナケーブルを車内に設置する。

ご使用になる車種によって、車内でのアンテナケーブルの設置方法（取り付けかた）は異なります。以下のイラスト例を参考に、受信状態が最良となるよう試してから、設置してください。

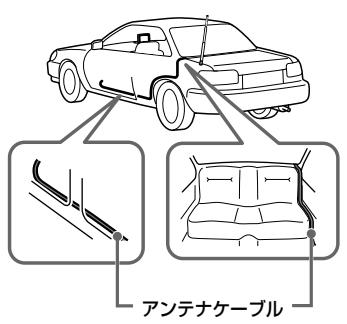
ご注意

- 受信状態が悪い場合は、アンテナケーブルが車のアンテナ近くになるように設置すると受信が良くなることがあります。
- 車のアンテナ位置は車の取扱説明書をご覧ください。

車のアンテナが車両の前にある場合の一例



車のアンテナが車両の後方にある場合の一例



2つのイラストは一例であり、ご使用になる車の状況により受信状態が変わります。最良の受信状態になるようアンテナケーブルを設置してください。

本機からの受信状態が悪くなつたときは

最初に設定した周波数では受信状態が良好であったにもかかわらず、走行中に受信状態が悪くなつたときは、次のように考えられます。状況に応じた対処を行ってください。

設定を終えた後、走行し始めたら受信状態が悪くなつた

- 地下駐車場やビルの影など、カーフMラジオでFM放送を受信しにくい場所があります。そのような場所でカーフMラジオと本機の設定をしたため、走行中にFM放送の受信状態がよくなり、設定した周波数がFM放送の影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなつたと考えられます。
- このような場合は、FM放送の受信状態がよい場所で、再度、FM放送を受信していない周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

車で移動するに従つて受信感度が悪くなつた

- FM放送は地域によって受信する周波数が異なります。移動した地域で、本機に設定した周波数でFM放送を受信できる場合は、その放送の影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなつことがあります。

このような場合は、移動した地域で、再度、FM放送を受信していないFM周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

ときどき音が途切れたり、ノイズが入つたりして聞こづらくなつた

- 都心部や市街地では、FM放送局やミニFM放送局、アマチュア無線などの影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなり、音が途切れたりノイズが入つたりする場合があります。
- このような場合は、再度、影響の少ないFM周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

選んだ周波数を記憶させるには

工場出荷時は、メモリーボタンの周波数はすべて76 MHzに設定されています。

「本機を設定する」の手順3で周波数を選んでから、周波数表示窓にメモリーボタン番号が表示されるまで記憶させたいメモリーボタンを押すまにします。

周波数を記憶させておけば、メモリーボタンを押すだけで周波数を選びます。

ご注意

選んだメモリーボタンにすでに別の周波数が記憶されているときは、新たに選んだ周波数が記憶されます。

充電する

充電時のウォームの動作については、ウォーム本体によって異なります。

1 ウォーム側で充電に必要な操作を行う。

対応機種によっては、充電をするための操作が必要ない機種もあります。詳しくは、ウォームに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 充電が終了したら、ウォームを本機からはずす。

ご注意

- シガレットライターソケットへの接続はしっかりと確実に行ってください。
- シガレットライターソケットの位置・形状によっては本機が使用できない場合があります。
- ケーブル類は以下の点に注意して正しく設置してください。
 - 運転操作や可動部の妨げになる取り付けをしない。
 - 幼児の手の届かないように設置する。
- エアバックシステムの動作を妨げる取り付けをしないでください。
- 火災、感電を避けるため、本機を液体や湿気のある場所で使わないでください。
- 本機やウォームを車内に放置しないでください。炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になります。放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

本機を使用しないときは

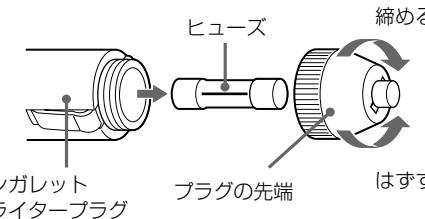
車のバッテリーの消耗を避けるために、本機を使用しないときは、必ずシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンを切ったときには

車の種類によっては、エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままで使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンを切った時には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

ヒューズの交換

本機が正常に動作しない場合（ランプが点灯しない場合など）は、シガレットライタープラグ内部のヒューズが切れていないかを確認してください。



1 シガレットライターソケットから本機を抜く。

2 プラグの先端部分を回してはずす。

3 ヒューズを取り出す。

4 ヒューズが切れていないか確認する。

切れている場合は、手順5へ
切れていない場合は、手順6へ

5 新しいヒューズを用意する。

市販の同じ定格のヒューズ（1 A 125 V、長さ約20 mm）をお求めください。

6 ヒューズを差し込む。

7 プラグの先端を元通りにしっかりと締める。

ご注意

- 定格の異なるヒューズをご使用になると故障や火災の原因になります。
- ヒューズを針金などで代用しないでください。
- ヒューズを交換したあとも、再び切れるような場合には、お買い上げ店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因／処置
ウォームの音がカーラジオから正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">本機がシガレットライターソケットやウォームへ正しく接続されていない → 正しく接続する。本機で選んだ送信周波数とカーフMラジオの周波数が一致していない → 本機の送信周波数とカーフMラジオの周波数を一致させ、送信可能な状態にする。接続したウォームからの音が出ていない → ウォームを再生状態にする。 → 音がひずまない範囲でカーラジオの音量を上げる。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none">接続したウォームの音量が小さい → 音がひずまない範囲でカーラジオの音量を上げる。
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none">接続したウォームのバスブースト機能を使用している → ウォームのバスブースト機能を解除する。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">本機で選んだ送信周波数とカーフMラジオの周波数が一致していない → 本機の送信周波数とカーフMラジオの周波数を一致させ、送信可能な状態にする。カーフMラジオの受信状態が悪い → カーフMラジオでの受信状態が良くなるように本機アンテナケーブルを車内に設置する。 (車のアンテナの近くになると受信状態が良くなることがあります。)選んだ周波数が放送に使用されている → 放送を受信していない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。別の用途や妨害電波の影響を受けている → 別の用途で使用していない、または妨害電波の影響の少ない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。
音が途切れる	<ul style="list-style-type: none">市街地などで妨害電波の影響を強く受けている → 妨害電波の影響の少ない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。
周波数表示窓のバックライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">本機がシガレットライターソケットへ正しく接続されていない → 正しく接続する。エンジンをかけないと通電状態にならない車種である → エンジンをかける。ヒューズが切れている → ヒューズを交換する。